２０２６／１１／２　　第２００号

わが村　Facebook　　わが村　Homepage

「わが村は美しく－北海道」運動　メールマガジン

■□■□《目　次》■□

（目次のタイトルは該当ページにリンクしています）

【ごあいさつ】

◎　「わが村は美しく－北海道」運動　メールマガジン創刊から第２００号を迎えて

（北海道開発局農業水産部農業振興課長　松岡　宗太郎）

【わが村運動情報】

◎ 札幌駅前地下遊歩道空間（チ・カ・ホ）で「わが村は美しく－北海道」運動ＰＲ！！

◎ 広報誌「開発こうほう」１１月号の掲載情報

【わが村コラム】

◎　『イタドリ収穫・下処理作業』（農村生活文化伝承活動をすすめる会（豊富町））

【わが村団体の活動情報】

◎『さっぽろ焼き芋テラス２０２６』に出店します！！（札幌市/芽室町）

◎～北方領土を間近に望む～　『本土最東端パノラマ・クルーズ』を今冬も開催します！（根室市）

◎『第４０回タンチョウクイズ』開催！！～タンチョウの数を予想して、幸運を掴もう！～（鶴居村）

◎『遠農高マルシェ』開催！！（遠別町）

◎『るべしべおんねゆマルシェ２０２６』を開催します！（北見市）

◎ 雄武高校の生徒考案の商品を販売しました！ in第１９回雄武の宝うまいもんまつり（雄武町）

◎「稲刈り体験学習」を実施しました！（留萌市）

※イベント情報については日時や内容などが変更となる場合がありますので、事前に関係HP（SNS）などでご確認ください。

【活動支援メニュー情報】

◎ 令和８年度（後期）「わが村運動活動助成」の実施

（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

◎ 活力ある農村づくり支援について（一般財団法人　北海道農業近代化技術研究センター）

◎ 農山漁村の案内に役立つ［便利帳］（北海道農政部）

◎ 地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

◎ 活動支援情報（花と緑のネットワーク）

＜ 編 集 後 記 ＞

■□■

【ごあいさつ】

◎ 「わが村は美しく－北海道」運動　メールマガジン創刊から第２００号を迎えて

（北海道開発局農業水産部農業振興課長　松岡　宗太郎）

「わが村は美しく－北海道」運動メールマガジンの２００号にあたりご挨拶申し上げます。

本運動は、平成１２年、折しも２０世紀から２１世紀に移ろうとする中、北海道の大地（農山漁村）から何を発していくのかを問われていたところから生まれ出ました。以来、本運動は、北海道特有の豊かで魅力ある地域資源を活用し、活力ある農山漁村を築くことを目的として展開してきています。

運動では、地域資源を活用した地域住民主体の活動について「景観」、「地域特産物」、「人の交流」に取組んでいる地域を支援することにより、北海道全体の農林水産業を豊かにし、農山漁村に活力をもたらすことを目指し、平成１３年度からコンクールを開催して参りました。過去１１回までのコンクールには、延べ応募数１，３１０もの団体（全道１７９市町村のうち１７３市町村から応募）の皆さまにご参加いただき、運動の理念の定着・普及が一定程度進んだのではないかと感じています。

第９期北海道総合開発計画（令和６年３月 12 日閣議決定）では、わが村運動が農林水産業の持続性を支える農山漁村の振興に位置付けられ、また今年度から、農業振興課ではわが村運動をはじめとした地域振興に加え、市町村の農業を大きく変える可能性のある国営農地再編整備事業と国営総合農地防災事業を担当することになりました。農業のインフラ整備（ハード）とわが村運動（ソフト）が連携し、新しい運動の形を作っていきたいと考えています。

このメールマガジンでは本運動に関する情報はもちろん、地域活性化に関する情報など、皆さんの活動の一助となるよう、情報の収集に努め、発信して参りますので、ご愛読の程、よろしくお願いいたします。

【わが村運動情報】

◎ 札幌駅前通地下歩道空間（チ・カ・ホ）で「わが村は美しく－北海道」運動ＰＲ！！

☆『パネル展』＆『地域特産品の販売会』を開催します！！☆

１１月１１日（水）と１２日（木）の２日間、札幌駅前通地下歩道空間（チ・カ・ホ）において、「わが村は美しく－北海道」運動の『パネル展』と運動参加団体による『地域特産品の販売会』を行う、『地域の魅力発信フェア』を開催します。

期間中、わが村運動の紹介パネルの展示や、わが村団体のパンフレットの配布のほか、１２の市町村から集まった１１のわが村団体の方々が地域特産品などの商品を対面販売します。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



【開催場所】札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）北大通交差点広場（東）１３番出入口横

（ご参考（チ・カ・ホ 広場案内図）https://www.sapporo-chikamichi.jp/about/#about3 ）

《出店団体（１１団体：あいうえお順）》

◆いきいきかあさん土曜市（岩見沢市）
◆株式会社もち米の里ふうれん特産館（風連町）
◆黒千石事業協同組合（北竜町）
〇昆布盛漁業協同組合　女性部（釧路町）
◇合同会社びほろ笑顔プロジェクト（美幌町）
〇そらち南さつまいもクラブ（由仁町・栗山町）
〇十勝品質事業協同組合（音更町）
◇ながぬま農業協同組合青年部（長沼町）
〇ベジタブルワークス株式会社（真狩村）
〇マザーズ（㈲北海道種鶏農場 白老たまごの里マザーズ）（白老町）
〇ＮＰＯ法人やくも元気村（八雲町）

※〇：両日とも　◇：１１日（水）のみ　◆：１２日（木）のみ

イベントの詳細については、下記 URL【報道発表】よりご確認ください↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/jtfkjs0000007158.html

◎広報誌「開発こうほう」１１月号の掲載情報

（一財）北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しく－北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号掲載され、１１月号では第１０回コンクールでＮＰＯ特別賞を受賞した「**黒松内フットパスクラブ**」（**黒松内町**）が紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は（一財）北海道開発協会のＨＰよりご覧いただけますので、「わが村は美しく－北海道　未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

https://www.hkk.or.jp/kouhou/

「**黒松内フットパスクラブ**」については、わが村ＨＰでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa000000g408-att/slo5pa000000g4dm.pdf

【わが村コラム(No.72)】

今回ご紹介するのは、豊富町の「**農村生活文化伝承活動をすすめる会**」（第7回コンクール特別賞受賞団体）が地域食文化の伝承活動の一つとして毎年実施している『**イタドリ収穫・下処理作業**』の模様です。

令和８年５月14日（木）から15日（金）にかけて「農村生活文化伝承活動をすすめる会」が豊富町内でイタドリの収穫と活動拠点「さろべつ工房」にてイタドリの下処理を行いました。現在の「農村生活文化伝承活動をすすめる会」の会員は、15名で構成年齢は30代から90代と幅広い年齢層となっています。今回は、そのうち11名が参加しました。



農村生活文化伝承活動をすすめる会

ところで、皆さんは「イタドリ」ってご存じでしょうか？

イタドリは日本原産の野草で、日当たりのよい道ばたや土手、山野などでよく見られるやや大型の多年草で、春の若芽は山菜として親しまれています。茎には竹のような節と赤紫色のまだら模様があり、成長すると大きいものだと高さ1.5～2メートルになります。古くから民間薬としても利用され、傷口に揉んで塗ると痛みが取れることから「痛み取り」が転じて名付けられたとも言われています。



春に生えてくるイタドリの若い茎は、シャキシャキとした食感が楽しめ、この時期の外見は、高さ0.5～1.0mです。



収穫したイタドリは１ｍ以下のものです

イタドリの収穫時期は短く、今年は例年より５日ほど早い収穫となりましたが、やはり熟年の勘（技）なのか、収穫時期が良かったため、肉厚で、下処理も適度な硬さで出来ました。ここからは、イタドリ収穫後の作業手順を紹介します。



① イタドリの節抜き作業を行います。

② 湯通し作業を行います。よい触感を得るのには茹で時間がポイントです。

③ イタドリの皮むき作業です。手間と時間がかる大変な作業です。



湯通し作業の様子



皮むき作業の様子



塩ふり作業の様子

全ての皮むき作業が終わり、イタドリを容器に並べ、塩をふりかけて1日寝かせます。ここまでが下処理となります。塩に漬け込むことで、イタドリから余分な水分と灰汁（アク）が抜けるとのことです。灰汁を含んだ塩水は捨て、再度、容器の中にイタドリをきれいに並べた後、大量の

塩をふって塩漬けにして完成です。この状態でなんと1年以上保存できるそうです。

塩漬けにしたイタドリは、会員の手によって「イタドリの和え物」に調理され、毎年秋に豊富町内で開催される「豊富町民文化祭」と同時開催の「伝承展」にて限定販売されます。一押しは、「イタドリのキムチ和え」です。

今年の「豊富町民文化祭」は、10月17日（土）、18日（日）に開催され、筆者もイベントに参加し「イタドリのキムチ和え」を購入しました。ご飯のおかずやお酒のお供にぴったりで、とてもおいしく頂きました。

みなさまも機会がありましたら、ぜひイタドリを味わってみてはいかがでしょうか。





「伝承展」での販売の様子

【お問い合わせ】　農村生活文化伝承活動をすすめる会

（窓口）宗谷農業改良普及センター宗谷北部支所　担当：佐藤さん

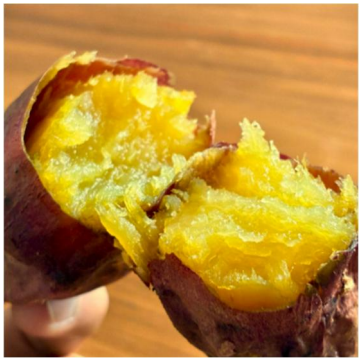
TEL：０１６２－８２－２１１９

（文責：稚内　わが村担当）

【わが村団体活動情報】

◎『さっぽろ焼き芋テラス２０２６』に出店します！！（札幌市/芽室町）

＜わが村団体名：なまら十勝野＞



十勝･芽室町の「なまら十勝野」が『さっぽろ焼き芋テラス 2026』に出店します。

会場には北海道各地や道外の焼き芋店が集まり、さまざまな種類の焼き芋やスイーツを楽しむことができます。「なまら十勝野」も、『なまら旨い』自慢の焼き芋を販売予定です。



毎年、多くの来場者でにぎわうこのイベント。イチョウ並木が黄金色に色づく中島公園で、ほくほく甘い焼き芋を片手に、北海道の秋の味覚を楽しんでみませんか？

ご家族やご友人と一緒に、ぜひお立ち寄りください。 皆さまのご来場をお待ちしています！

【開催期間】１０月２３日（金）～１１月３日（火・祝）

【開催時間】１１：００～２０：００（最終日のみ１９：００終了）

【開催場所】中島公園 南９条広場

（札幌市中央区中島公園１／地下鉄南北線「中島公園駅」１番・３番出口すぐ）

【ＨＰ（さっぽろ焼き芋テラス）】https://sapporo-yakiimoterrace.com

【ＨＰ（なまら十勝野）】https://namaratokachiya.my.salesforce-sites.com/

◎～北方領土を間近に望む～　『本土最東端パノラマ・クルーズ』を今冬も開催します！（根室市）

＜わが村団体名：歯舞地区マリンビジョン協議会＞



「歯舞地区マリンビジョン協議会」では、地域の水産資源を活かした地域活性化の取組を行っており、その一環として冬季のクルージングを開催しています。

納沙布岬からわずか３．７ｋｍ先には北方領土の貝殻島灯台があります。クルーズ船は歯舞漁港を出発し、その半分の１．８５ｋｍ地点までしか近づくことはできませんが、周辺海域は日本有数の海鳥飛来地として知られています。また、運が良ければクジラ、ラッコ、アザラシ、イルカなどの姿を見ることもできます。

海上ならではの景色や野生動物の観察を楽しめる冬季クルージングに、是非乗船してみてはいかがでしょうか。



【開催期間】　令和８年１１月１日～令和９年４月３０日（前日までの事前予約制）

【出航時間】　①９：３０　②１２：００（所要時間約２時間）

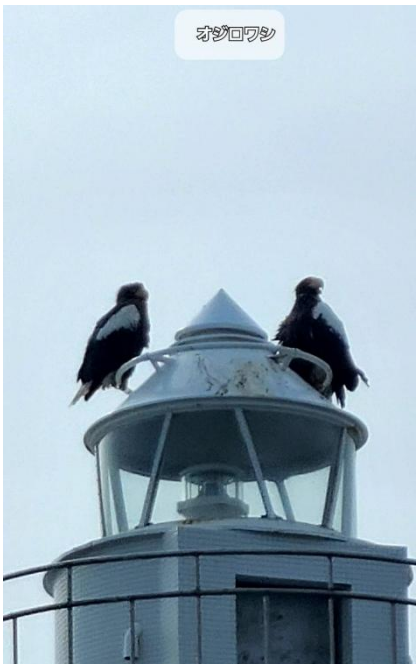
【乗船予約・お問合せ】ＴＥＬ：０１５３－２８－２１２４

歯舞漁業協同組合　指導部・遊覧船係（根室市歯舞４－132－2）

受付時間：９時～１７時（月～金曜日）

【　Ｈ　Ｐ　】https://habomai-jf.jp/taiken.html　（歯舞漁業協同組合）

※イベントの詳細は、ポスターまたはＨＰをご確認ください。







◎『第４０回 タンチョウクイズ』開催！！～タンチョウの数を予想して、幸運を掴もう！～（鶴居村）

＜わが村団体名：ＮＰＯ法人 美しい村・鶴居村観光協会＞

冬の鶴居村に舞い降りる、タンチョウ。そのタンチョウのことを詳しく知りながら、様々な景品があたる特別なクイズに挑戦しませんか？

「ＮＰＯ法人 美しい村・鶴居村観光協会」では、毎年恒例の『タンチョウクイズ』を開催しています。クイズを通じてタンチョウへの理解を深めながら、この冬、釧路圏で観測されるタンチョウの総数を予想していただきます。正解者の中から抽選で、鶴居村ならではの豪華賞品を進呈！

クイズの回答・ご応募は、下記の特設サイトから受け付けていますので、パソコンやスマートフォンから、お気軽にご参加ください。

タンチョウについて学びながら、みなさまの鋭い考察力と幸運で豪華景品獲得にも挑戦してみてください！たくさんのご応募をお待ちしています！



▼ご応募はこちら

【応募ﾌｫｰﾑ】 https://tsuruimura.com/2026-tancho-quiz/

【応募締切】 令和８年１１月３０日（月）

【発 表 日】 令和９年２月中旬以降予定

【お問合せ】 TEL：０１５４－６４－２０２０（ＮＰＯ法人 美しい村・鶴居村観光協会）

【Instagram】https://www.instagram.com/tsurukan_official/

【Facebook】 https://www.facebook.com/tsurukanko

◎『遠農高マルシェ』開催！！ （遠別町）

＜わが村団体名：北海道遠別農業高等学校＞



「遠別農業高等学校」では、生徒が作った農産物や加工品などを販売する『遠農高（えんのう）マルシェ』を、１０月から１２月まで各月１回（計３回）の予定で開催しており、第２回目を１１月１３日（金）に行います。



今回は、生徒たちが育てた農産物（もち米、玉ねぎ、サツマイモ、金時豆ほか）や人気の「パウンドケーキ」「ペリーラ（赤シソジュース）」「羊肉まん」のほか、生徒たちが飼育したサフォーク羊を加工した「羊肉スライス」などを販売します。

『遠農高マルシェ』のテーマは「“売る×伝える”～私たちが農業の魅力を発信する～」です。

生徒たちが販売を通じて、接客や商品のＰＲに挑戦しながら、学校での学びや農業の魅力を地域の皆さんに直接お届けします。

平日の開催ではありますが、皆様のお越しをお待ちしています。





【開催日時】令和８年１１月１３日（金）　１３：００～１３：４０

【開催場所】北海道遠別農業高等学校（天塩郡遠別町字北浜 74 番地）

【お問合せ】ＴＥＬ：01632-7-2551（職員室）、ＦＡＸ：01632-7-2376（事務室）

【Ｈ　　Ｐ】http://www.enbetsunougyou.hokkaido-c.ed.jp/　（北海道遠別農業高等学校）

【Facebook】https://www.facebook.com/profile.php?id=100057860251252

【X（旧:Twitter）】https://x.com/enbetsunougyou

【Instagram】https://www.instagram.com/enbetsunougyou/?locale=ja_JP

※３回目（最終回）の開催は１２月２３日（水）の予定です（詳細はＨＰ等にてご確認ください）。

◎『るべしべおんねゆマルシェ２０２６』を開催します！（北見市）

＜わが村団体名：るべしべ白花豆くらぶ＞

毎年大勢の人が訪れる、『るべしべおんねゆマルシェ２０２６』を今年は１１月２２日（日）に開催します。

ステージイベントでは、白花豆の魅力について講演を行うほか、白花豆を使った簡単レシピなども紹介する予定です。

また、会場ではキッチンカーや屋内ショップの出店や、ロビーでは協賛のＪＡきたみらいから「きたみらい牛乳」の無料提供もあります（先着１００名）。

ぜひお越しください！



【開催日時】令和８年１１月２２日（日）　１０：３０～１５：００

【開催場所】留辺蘂住民交流センター（北見市留辺蘂町旭中央２４番地１２）

【お問合せ】ＴＥＬ：０９０－８９０８－３２２４（るべしべ白花豆くらぶ　須藤）

【　Ｈ　Ｐ　】https://shirohanamame.jp/

【Facebook】https://www.facebook.com/shirohanamame/?locale=ja_JP

◎雄武高校の生徒考案の商品を販売しました！ in 第１９回雄武の宝うまいもんまつり（雄武町）

＜わが村団体名：合同会社びほろ笑顔プロジェクト＞

＜わが村団体名：雄武高等学校＞

雄武町の特産品開発プロジェクトに取り組んでいる雄武高校では、合同会社びほろ笑顔プロジェクトと連携し、商品開発のノウハウやアドバイスを受けながら、生徒たちが特産品づくりを行っています。

９月２７日（日）に開催された「第１９回雄武の宝うまいもんまつり」では、生徒たちが地元の農水産物を使用して開発した「おうむまん（カレー味）」、「ほたてせんべい」、「韃靼そばラーメン」、「だったんドシャクッキー」を販売しました。


雄武高校＆びほろ笑顔プロジェクト　販売会の様子①

有機ＪＡＳ認定の牧草を食べて育った雄武町産「カラービーフ」と美幌町産の野菜、ブルーグラスファーム（雄武町）の自家製チーズを具材にして、今年の３年生が１年半かけて開発した「おうむまん（カレー味）」をはじめ、雄武町の有機韃靼そば粉を使用し、ラングドシャクッキーをモチーフにした香ばしい味わいの「だったんドシャクッキー」は、お買い求めくださった皆さまからも大変好評ですべて完売いたしました！





お客様に取組の事や商品の詳細を丁寧に説明し、「美味しかったよ！頑張ってね！」「また来年も雄武町に来るね！」などの声をいただき、販売を行った生徒はその言葉がとてもうれしそうで、“（販売会は）楽しい時間で、あっという間に終わってしまいました！”と満面の笑顔で話していました。

雄武町のふるさと納税返礼品にて、「ほたてせんべい」「韃靼そばラーメン」を取り扱っているそうなので、雄武高校の生徒たちが開発した自慢の商品をこの機会に試してみてはいかがでしょうか？


雄武高校＆びほろ笑顔プロジェクト　販売会の様子②

◎「稲刈り体験学習」を実施しました！（留萌市）

＜わが村団体名：留萌市食農教育推進協議会＞



『留萌市食農教育推進協議会』は、１０月６日（火）に留萌市幌糠で、市内４校の小学五年生７３名が参加して「稲刈り体験学習」を行いました！

６月に田植え体験を行った水田で、たわわに実った「ななつぼし」を収穫しました。児童たちは協議会メンバーに教わりながら鎌を使って稲を刈り取り、コンバインでの脱穀作業についても学びました。



参加した児童からは、「鎌で刈るのが楽しかった」「大変だったけど楽しかった」「お米を食べるのが楽しみ！」といった元気な声がたくさん聞かれました。

最後に、児童から協議会への感謝の言葉を受けて佐藤会長からは、収穫したお米は後日各校に配布することや、田植え・稲刈り体験を題材とした絵画コンクールを行うことを説明し、「みんなの絵を楽しみに待っています！」と児童に呼びかけ、体験学習を終えました。





【活動支援メニュー】

○令和８年度（後期）「わが村運動活動助成」の実施

（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワークでは、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、令和８年度（後期）の助成募集を行っています。

助成事業の詳細については、当ＮＰＯ法人のＨＰによりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は地域で頑張る皆様を応援しています。

【助成募集期間（R８後期)】令和８年７月１日～ 令和８年１２月３１日

【助 成 額】１団体当たり１件、１０万円を限度として選考により予算の範囲内で助成

【Ｈ　　Ｐ】 http://wagamura-net.jp/

○活力ある農村づくり支援について（一般財団法人　北海道農業近代化技術研究センター）

一般財団法人　北海道農業近代化技術研究センターでは、活力ある農村づくりを進めるため、地域の創意工夫や主体性に基づく、地産地消の推進、地元農産物の付加価値の向上、農村環境の保全などに取組む団体に対し助成を行っています。

助成の詳細はＨＰをご覧ください。

【申込期限】令和８年１１月末まで

【助 成 額】必要経費が100千円までは全額、100千円を超えた場合は越えた分の1/2を加算し、200千円を限度とする。

【Ｈ　　Ｐ】 https://www.hamc.or.jp/support/katuryoku.html

○農山漁村の案内に役立つ［便利帳］（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取組を積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する［便利帳］を作成しています。詳細は、北海道農政部ＨＰをご覧ください。

【Ｈ　　Ｐ】　https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部ＨＰをご覧ください。

【Ｈ　　Ｐ】　https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々を応援するための制度で、新商品を３ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに３か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（Ｒ８年度開催予定分 テスト販売期間：第4四半期（Ｒ９年１月～３月））

令和８年１０月１日（木）～ 令和８年１１月１０日（火）　※国内店舗販売分

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

ＴＥＬ　０１１－２０４－５７６６

【Ｈ　　Ｐ】　https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【H　　P】　https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

＜ 編 集 後 記 ＞

毎日の通勤途中で見かける木々も、朝晩の冷たい空気とともに少しずつ色づき、秋の深まりを感じる季節になりました。晴れた日の青空に映える紅葉はとても美しく、忙しい毎日の中でもほっと心を和ませてくれます。

冬になると春の訪れが待ち遠しくなりますが、紅葉を楽しみながら迎える冬の始まりも、なかなか良いものです。季節の移ろいを感じながら、この時期ならではの景色を楽しみたいと思います。

＊＊

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒０６０－８５１１　札幌市北区北８条西２丁目 札幌第１合同庁舎１４階
↓わが村ＨＰはこちらからご覧ください。
https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html
↓Facebookでも情報配信しています。
https://www.facebook.com/wagamura

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！
本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。
配信希望・ご意見・ご感想はこちら　hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp
（配信希望の方は、所属先（所在地）、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください）
※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、
Microsoft Edge等を使用して接続してください。
※写真の掲載にあたっては、事前に許可を得ております。

＊＊